

アルブレクト Vol.4 の時代

アートって、なかに...

アートの力

ちから

▼開会あいさつ 13:20～

▼第1部 / 13:30～14:55 (休憩あり)

「絵の幸福・シタラトモアキ論」

秋庭 史典 (名古屋大学大学院情報学研究科教授)

自著「絵の幸福・シタラトモアキ論」をベースに描くことの意味についてのお話。

▼「芸術の果たしてきた役割」

金井 直 (信州大学人文学部教授)

美術、芸術の歴史から、芸術の果たしてきた役割についてのお話。

▼第2部 / 15:00～16:00

・フリートークディスカッション

秋庭 史典、金井 直、鈴木 敏春 (美術批評家)

・愛知県立芸術大学での取り組みを紹介

佐藤 文子 (愛知県立芸術大学 美術学部陶磁専攻准教授)

・司会進行 /

神田 每実 (愛知県立芸術大学 美術学部彫刻専攻教授)

佐藤 文子 (愛知県立芸術大学 美術学部陶磁専攻准教授)

(敬称略)

2024

2/17 **土**
13:30-16:00

愛知県立芸術大学
新講義棟 大講義室

入場無料

開場 13:00～

当日先着定員 100名

■主催

愛知県障害者芸術文化活動支援センター

愛知県立芸術大学

■企画運営協力:

特定非営利活動法人 愛知アート・コレクティブ

小寺良和 / Yoshikazu KODERA

アール・ブリュット Vol.4

The age of art brut の時代

アートって、なあに… アートの力

ちから



福祉のアール・ブリュットを アートの側から考える シンポジウム。

講師紹介 (順不同)



秋庭 史典
(あきばふみのり)

名古屋大学大学院情報学研究所教授。博士 (文学)。専門は美学。著書に『あたらしい美学をつくる』(みすず書房, 2011年)、『絵の幸福—シラトモアキ論』(みすず書房, 2020年)。共著書に『ハートのイメージ世界』(滝川順子編・晃洋書房, 2021年)、『人工知能美学芸術展記録集』(人工知能美学芸術研究会, 2019年)。項目執筆に『人工知能学大事典』(共立出版, 2017年)。訳書にR.シュスターマン『ポピュラー芸術の美学—プラグマティズムの立場から』(勁草書房, 1999年)。論文に「美学者から見た AI とメディア芸術」(『映像情報メディア学会誌』77(5), 2023年) などがある。



金井 直
(かないただし)

信州大学人文学部教授。豊田市美術館学芸員を経て現職。主な企画に「アルテ・ポーヴェラ」(豊田市美術館, 2005年)、Vanishing Points (ニューデリー国立近代美術館他, 2007年)、「あいちトリエンナーレ 2016」(共同キュレーション、愛知県美術館他, 2016年)、著書に『像をうつす 複製技術時代の彫刻と写真』(赤々舎, 2022年)、共著に『ジョルジョ・モランディの手紙』(みすず書房, 2011年)、共訳に『Art since 1900』(東京書籍, 2019年) など。ヴェネツィア大学哲学文化財学科客員研究員 (2017-18年)。



鈴木 敏春
(すずきとしはる)

美術批評家。1970年「漆黒の馬」編集委員会、1974年～79年「8号室」運営委員会・名古屋美術家共同組合、90年美術雑誌『美術手帖』展評など各誌に執筆。2014年からの「あいちアール・ブリュット展」に立ち上げから関わる。NPO愛知アート・コレクティブ代表。

司会進行 /

神田 每実 (愛知県立芸術大学 美術学部彫刻専攻教授)

佐藤 文子 (愛知県立芸術大学 美術学部陶磁専攻准教授)



愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学
〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114
(お問合せ)
愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課
☎ 0561-76-2873 (平日 9:00 ~ 17:30)
<https://www.aichi-fam-u.ac.jp>

【アクセス】

◎名古屋方面から
市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車、もしくは市営地下鉄東山線「本郷」駅又は「藤が丘」駅からタクシーで約15分
◎豊田・瀬戸方面から
愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車
※「芸大通」駅より徒歩約10分
※駐車場の数には限りがございますので、公共交通機関の利用にご協力ください。

